



第6号  
令和元年  
7月19日発行

# 志高く

自ら考え 学び続ける生徒  
心豊かで 思いやりのある生徒  
体を鍛え やり抜く生徒

## 夏休みに「よく学び よく遊べ」 - 「遊ぶ」とは、学んだことを活用し日常化すること -

石川 浩

70日間に及んだ1学期が本日で終わり、明日から39日間の長い夏休みに入ります。1学期は、「構えと形をつくる」を重点に掲げて様々な取り組みを進めてきました。そして目に見える各学年の深中生らしさを身に付けてきました。こうした1学期の学びの成果を、どう2学期の取り組みにつなげていったらよいでしょうか。その鍵は明日からの夏休みの過ごし方にかかっています。



8年前に深谷市内の小・中学校は教室にエアコンの設置していただき、真夏でも快適な教室で勉強できるようになりました。「暑いから夏休みにしなければならぬ」とは言えなくなりました。それでも私は、今も長期間の夏休みは必要だと考えています。それは、1学期に学校で学び身に付けてきたことを、自分の力で理解しできるようになっているか、そして自分で考え・判断して行動に移せるようになっているかを、試してみるある程度まとまった期間が必要だと考えているからです。

「学校は他律による自律の機関」と言われます。特に中学校にはこの言葉がよくあてはまります。授業や生活指導、学校行事や部活動などには、「教え→繰り返し習わせ→できるようにする」、いわゆる教授という「他律」の部分が不可欠です。しかしそれで完結するわけではありません。ゴールは「自律→自立」です。授業でも必ず「適応問題を解く」など教えられたことを活用・応用・汎用する場を設けますし、宿泊行事の集大成である修学旅行には生徒が計画し実行する班別行動を入れます。部活動の試合やコンクール、そして生徒会活動も同様の意義があります。少し極端になりますが、便利とは依存であり、依存とは他律です。近頃の生活のほとんどが便利に他律化されてきていて、自分で考え・判断して行動することがどんどん少なくなっています。だからこそ、「自分を育てるのは自分」という意識も態度も、自分で自分を動かす「気力」も「モラル」もしっかりと教え・訓練し、一人一人が年相応に努力して自分のものにしなければならないと思うのです。夏休みは「他律」を「自律」につなぐ大切な時間なのです。

深谷中学校の職員用玄関を出た突き当たりに「よく学び よく遊べ」の文字が刻まれた石碑があります。深中に赴任して日々この言葉を目にしているうちに、「遊ぶ」の意味について考えるようになりました。『広辞苑』には「学問などのために他の土地に行く」という意味が載せられていました。教室を離れ体験的に学び直すことや学んだことを日常化したり生活化したりすることも「遊ぶ」なのではないかと考えるようになりました。この意味で、「よく学び よく遊べ」という言葉を夏休みを迎える深中生たちに贈り、令和元年度第1学期を終えたいと思います。

### 【お知らせ】

昨年度より、働き方改革の一環として教職員が夏季休業中に夏季休暇を取れるよう、国の推奨する学校閉庁を「日直を置かない日」として設定します。今年度は8月13日(火)～16日(金)が学校に職員が不在となります。万一学校閉庁の日に緊急の用件がありましたら、深谷市教育委員会学校教育課(572-9578)まで連絡ください。

## 1学期を振り返って

1学期終業式の中で、各学年の代表が、今学期を振り返るとともに、夏休みや2学期への決意を語ってくれました。その一部を紹介します。

小林 美輝さん  
1年1組



自分で決めた部で始めた部活動、中間・期末テスト。初めてのことに一人一人が本気で取り組んだ1学期でした。集団行動の場面では、どのクラスも周りを見て行動できなかった時があったようです。2学期は体育祭や音楽会があるので、団結力を強くし、一人一人が全体のことを意識し相手の気持ちを考えて行動していくようにします。また、自分の目標をもちそれを達成するために一人一人が本気で頑張ります。団結力は、先生に言われて強めるものではなく、自分たちで声をかけ合い相手の気持ちを考えて、目標に向けて最後まであきらめずにやり切ることで強くなっていくものだと思います。1学年の自治力が高まるような2学期していきます。そのための準備となる深中生として初めて迎える夏休みを、一人一人が目標をもち、その達成に向けて悔いのないよう過ごしていきます。

石井 花凜さん  
2年1組



深中の2年生となり、新たな気持ちで臨んだ今学期。私たちは多くのことを経験しました。その中で特に強く印象に残ったことが二つあります。一つは先輩という立場になったことです。初めの頃は何をどうしてよいか分かりませんでした。3年生の姿をまねて優しく丁寧に後輩に接していくうちに、少しずつ先輩らしい行動ができるようになりました。二つ目は自然体験宿泊学習です。初めてのラフティングや野外でのカレー作り。初めはうまくいかないことばかりでしたが、仲間と協力して進めるうちに徐々にできるようになりました。貴重な経験を通して、私たちは多くの成果をあげるとともに、2年生としての課題も明らかになりました。それは、時間を意識した行動が不十分であることです。

そこで、まずは夏休みを、時間を意識した行動をすることで部活と学習を両立させていきます。そして2学期は、一人一人が時間への意識をもち、呼びかけを活発にすることでチャイム着席を守れるようになり、3年生から深中のリーダーのバトンを引き継げるような学年になっていきたいです。

矢嶋 永遠さん  
3年1組



中学3年生としての1学期を三つの観点で振り返ってみます。一つ目は中学校宿泊行事の集大成である修学旅行です。全体・クラス別・班別の活動があり、自分たちで計画・実行する難しさと楽しさを学ぶことができました。集合してから静かになるまでまだ時間がかかるという課題を確認できました。二つ目は部活動です。これまで共に切磋琢磨してきた仲間と臨んだ学総予選では、どの部も自分たちの目標に向けて全力で相手に挑み、そしてそれぞれの思いを込めて後輩にバトンタッチすることができました。校舎2階に各部の3年生から1・2年生へのメッセージを掲示しましたのでじっくり読んでください。三つ目は学習です。まだ受験生としての取組を始められていない人がほとんどですが、進路コーナーに掲示される高校のパンフレットが一気に増えたことで受験生である意識が高まりました。

1学期の振り返りを踏まえ、夏休みは1日のリズムを作り計画的に過ごせるようにします。2学期は、三大行事に全力で取り組み、クラスの絆をより強くしていきたいです。三大行事とテストが交互にやってくるからこそ、日々の授業と家庭学習を充実させ、3学年全体で悔いのない2学期にします。

## 埼玉県学力・学習状況調査結果の返却について



4月に全学年を対象に実施した「埼玉県学力・学習状況調査」の結果が届きました。「個人結果票」を3年生は三者面談、1・2年生は家庭訪問で各ご家庭にお渡しします。この調査は、小学校4年生から中学校3年生までの期間、学力をどのように身に付けているかを、子供たち一人一人の「学力レベル」と「学力の伸び」からとらえようとするものです。今回お渡しする「個人結果票」では、中学校に入学してからの伸びを確認できます。小学校で実施された本調査の「個人結果票」(小学校から配布されたもの)があれば、その学年からの伸びも確認できます。調査結果を通知表と併せてご覧いただき、お子さんの「現在の学力」と「よいところ」「努力が必要などころ」を把握し、お子さんに合った目標や学習のしかた等をご家庭で話し合ってください。その際、よかったところや伸びたところをほめて、お子さんの自信を膨らませてあげることが大切であり効果があります。

また、埼玉県学力・学習状況調査のホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>にある「復習シート」を活用し、自分の苦手な内容を克服したり得意なところを更に伸ばしたりするような学習を、夏休み中にぜひ進めてください。

※この調査は4月に実施するため、各学年の調査問題は1つ下の学年までの内容となっています。1つ上の学年の問題にチャレンジしたり、下の学年の範囲で自分がつまずいている内容の問題を使って復習したりしてみましよう！

